

伊勢町商店街振興組合の解散や、松本パルコの閉店が相次いで報道された令和5年の春からスタートしたこの連載も、5回目を迎えることとなった。松本駅前の昭和の再開発以降の街の変遷を概観してきたが、その後の現在地を確認しておきたい。

まずは振興組合が解散した伊勢町通りのその後。Mウィング開館以来、毎年クラフトフェアと同日程で開催されてきた手まり時計まつりは、公民館職員や利用団体、Mウィング管理組合などの実行委員会によってその後も実施さ

どうする松本5 その後 どうなった松本



令和8年7月1日現在

世帯数 : 963世帯

人口 : 1640人

男 : 779人

女 : 861人



変わりゆく第一地区の風景①

松本シェーナ（南側） オープニングセレモニーの様子

多くのフロアが埋まりつつある。来春のグラランドオーブンに向けて、温かく見守りたい。やはり閉店した井上本店はその後所有者が変わり、マリオット・インタリーナショナルのホテルブランド「モクシー松本」として来年度中の開業を目指して改装中。増加著しいインバウンド客へ

再開発物件がある。松本駅前

れ、本年は7月11、12日に行われた。歩道両側の「せせらぎ」の維持管理は町会に引き継がれたものの、商店街も町会も構成員としてはほぼ同じなので、その先行きが危ぶまれているが、エクセラン高校やつくば開成学園高校松本校の生徒らがボランティア参加するようになり、直近では筑摩小学校の児童も参加するなど、市民交流の場として機能しているようだ。

紆余曲折あった旧松本パルコの後利用は、6月30日に「松本シェーナ」として営業をとりあえず再開した。キーテナントであるドン・キホーテ松本店を中心に新規のテナント



変わりゆく第一地区の風景②

モクシー松本（旧井上本店）

の対応としては期待が大きい。街の賑わいや市民生活との関わりといった面では現状では見通すことが難しい。

旧パルコの活用案として有力だった若者のたまり場・フリースペースを中心市街地に整備する市の構想は、今春の市議会でも否決され、白紙化した。議員の中からは第一地区のあの辺りは「歓楽街で治安が悪く」若者向けの施設の整備には不相当との意見まで出されていた。クマやイノシシ

記念公園の西側、JT跡地に建設中の松本市最高層にして県下最大の分譲マンションである。その規模273戸。ワンルームタイプではなく3LDKからなので、324世帯人口586人（7年国勢調査）の王滝村を優に超えるボリュームである。第一地区963世帯1640人（7月1日現在）への影響は、完成する再来年の1月以降の周辺の商業者だけではなく、行政や住民としても注目に値するインパクトになるに違いない。第一地区の新陳代謝・栄枯盛衰はまだ続く。（この記事は6月23日〜7月1日現在の情報に基づいております。）



変わりゆく第一地区の風景③

スピカビル跡地

まちなかの子ども達に安心の居場所を
 ～市街地中心部のリアルな願い～

今年3月、松本市議会において「ユースセンター」の設置案が否決されたというニュースは、私達子育て世代に大きな波紋を広げました。報道によると、議会自体はセンターの設置に前向きであるものの、候補となった場所が問題視されたようです。「繁

れることとなり、地域の文化活動の拠点として大きな期待を集めています。こうした施設の存在は本来に羨ましい限りですが、市街地中心部から波田までの距離を考えると、放課後の子ども達が気軽に日常使いできる場所ではありません。

華街に近い場所はどうか」他の公民館の活用を探るべきだ」といった懸念の声から、現在は別の可能性を模索している状況だといひます。

松本市の中心部は、多くの観光客や様々な人々が行き交う賑やかな街です。また、このエリアで子育てをする家庭の多くは、商家や共働き家族

しかし、私達のように市街地のど真ん中で暮らし、子どもを育てる親の立場からすると、この議論には少しもどかしさを感じるのです。なぜなら、市街地から離れた地域の公民館が活用されることになっても、まちなかの子どもにとってはかえって不便で歩きづらい場所になってしまいうからです。

であり、親が夕方以降も忙しく働いているケースが少なくありません。だからこそ、この街のど真ん中に、子ども達が徒歩や自転車を通して、親の目が届く範囲で安心して集まれる「日常の居場所」が今まさに必要なのです。

そんな中、私達の身近な「第一地区公民館」に明るい兆しが見えています。今年4月、

一方で、同じ松本市内を見渡すと、素晴らしい先進事例もあります。波田地区の「波田文化センター」内には未就学児から中高生までを対象とした画期的な居場所が設けら

第一地区公民館が入るMウィング内のフリースペースが新装されました。そこでは、お喋りや飲食を楽しむながら気軽に過ごせる「ゆるな学習スペース」と、集中して机に向

かいたい「ガチ勉強勢」のた
めのスペースが緩やかに区
切って用意されています。

現在は、主に高校生の利用が目立っているようですが、今後は小学生や中学生も含め、さらに幅広い世代の子どもや若者達が活用しやすい環境へと、アップデートされていくことを心から期待しています。大きなユースセンターの議論が続く一方で、今ある地域の足元から、まちなかの子ども達を温かく育む環境作りを、地域の皆さんと共に進めていきたいものです。

上高地
ウォーキング

5月19日火曜日に公民館と福祉ひろば共催で上高地ウォーキングを実施しました。応募数は募集定員を超えた。応募となり、当選された10名の方が参加されました。

当日、松本市街地は最高気温30度超えの真夏日となり、上高地でも天候に恵まれ、汗ばむ



陽気となりました。

ウオーキングは大正池から河童橋までのお散歩コースと上高地バスターミナルから明神池を往復する健脚コースの2つに分かれて歩きました。お散歩コースでは、動植物に關して講師の解説を聞きながら散策をしました。健脚コースでは、講師の解説はないものの自分のペースで上高地の自然を堪能しました。参加さ

れた方からは「空気が良くて気持ちよかった。また参加したい」といった声をいただきました。



A black and white photograph showing three people standing next to a large, vertical stone marker in a forest. The marker has some text and symbols on it. The people are dressed in outdoor gear, including hats and backpacks. The background is a dense forest.

第一地区公民館
の最新講座情報
はHPをチェック!



電車通り

一番手近な乗り物としての自転車ですが、16歳以上の人が自転車で交通違反をすると「青切符（交通反則切符）」が交付される新たな制度が令和8年4月1日より施行されました。目的は事故防止ですが、警察は、歩道通行や信号無視など多くの違反は口頭や書面での指導警告を基本とし従わない場合は青切符を切る。運転中に携帯電話を使う「ながらスマホ」や遮断踏切の立ち入りなどは即、青切符の対象です。県警によると制度導入から指導警告票を交付したのは一時不停止が最多で無灯火や、通行区分違反などです。青切符を切られた人は「ながらスマホ」で8割が10〜30代で高校生も含まれ画面を見ていたケースがほとんどで通話中の者も。自転車は免許制度がなくルールを教わる機会がありません。日本は車道が狭い所が多く自転車レーンのない所も多いです。自転車の通行可能な標識がある場合など例外的に歩道を走れるがルールははっきりしません。警察も研修などして理解しやすいようにしてほしいです。根本問題は自転車も安心して走れる道路の整備です。